

さくらじま

140号



発行：
公益社団法人 鹿児島県社会福祉士会
会長 東 和沖
鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター内
Tel 099(213)4055
Fax 099(213)4051

URL:<https://kagocsw.jp> E-mail:jacsw@po.minc.ne.jp

社会福祉士実習指導者講習会に参加して思うこと

幾留正仁

昨年施設の統括部長より社会福祉士の実習受け入れができないでしょうかとの相談を受ける。昨年中は施設が社会福祉士実習受け入れの意向があることを知らず、鹿児島県社会福祉士会の社会福祉士実習指導者講習会の申し込みも終了していたため講習に参加できなかった。今年度になり、鹿児島県社会福祉士会の社会福祉士実習指導者講習会に申し込みを行い参加することとなる。講習の案内が届き、内容を確認すると開催日は1日目が令和4年7月23日、2日目が令和4年7月24日、2日間であった。必要なテキストが社会福祉士実習指導者テキスト、社会福祉士の倫理と記載されており購入して、届いたテキストを一読するも内容が読んだだけでは理解が難しいところが多かった。そのため講習会への不安が募る。

初日の日程はオリエンテーション／開講式・実習指導概論（講義2時間）・実習プログラミング論（講義3時間）・実習マネジメント論（講義2時間）。実習マネジメント論の講師は社会福祉士会広報委員会の石場講師であり、石場講師は福祉新聞の福祉士リレーずいそうにコラムを掲載されていた。座学の内容のポイントは、令和元年社会福祉士養成課程における教育内容等の見直しであり、新カリキュラムでの一番の大きな変更点は実習時間数を180時間から240時間に拡充し2つ以上の実習施設・機関で実習を行う。1つの実習施設・機関で180時間以上の実習が基本。そのため、実習施設と他の施設との連携がとても大切となり、全教育事項を網羅するための実習計画等の調整が必要なこと、2施設ないし3施設で全教育事項を網羅しなければならないことがとても難しい課題である。

2日目は実習スーパービジョン論（講義・演習7時間）、講師は前鹿児島県社会福祉士会会长で現在は鹿児島女子短期大学の准教授久留須講師であり、久留須講師の講義は歯切れが良く聞き取りやすい。コロナ禍のこともあり講師はリモートでの講義である。この日は実習スーパービジョン論演習のグループワークが主であり、私のグループはAグループで男性4名。会場でのグループはAからDの4グループとリモートでのグループはEからJの6グループ各4名である。私のグループは奄美大島からの参加者もいらして、泊りがけで参加されていた。グループワークが始まり、演習1、実習生に適切に関わる。演習2、実習生の学びを支える。演習3、実習生の倫理的ジレンマに対応する。最後はまとめで締めくくられた。私のグループの3名の受講者は年齢的にも50歳代であり、各事業所の施設長、責任者をされていることもあって的確で活発な意見が飛び交うグループワークであり、私もはじめ戸惑いがあったが、グループワーク後半になり何とか意見が出せるようになった。皆さん真剣であった。

今回の講習会に参加された事業所は32事業所で総数38名であり、福祉業界も人材不足のなか、数少ない人材を確保したいとの思いもあると思うも、不安や期待をもって実習に臨む実習生が思い描く実習が実現し、社会福祉士となってからも社会貢献ができるようになってもらいたいと思う気持ちは、講習に参加された社会福祉士みな一緒であろう。

南薩地区支部研修会報告

N・クリエイト 牛山 直美

8月27日(土)に南薩地区支部研修が開催されました。実は南薩地区支部の研修はコロナ禍になってからはじめての開催でした。まずは無事に開催されたこと、必要性を求めてたくさんの会員さんと一緒に参加できたことを嬉しく思いました。20名以上の参加者の中には、他の地区支部の会員さんや鹿児島県社士会出身の県外の社会福祉士さん、実習中の学生さんの参加もありました。

今回の研修は講演とグループワークという構成で、前半に私の方で『社会福祉士としての多様な働き方と地域の社会福祉士としての役割』として30分ほど話をさせていただきました。内容としては、医療機関10年→社会福祉士会・地域生活支援センター6年半勤務中に、父親が脳梗塞で倒れ、母親が精神疾患という状況が重なり介護の必要性にともない退職、その後個人事業主として複数の業種を組み合わせて働く中で、社会福祉士としての働き方や活動について模索し現在に至ることをお伝えしました。現在、社会福祉士としては複数の障害者就労支援事業所やGHと委託契約を結び、触法や長期入院後の利用者について、面談及びケース検討会の実施と、職員に対してのスーパービジョンも実施しています。その他の仕事としては介護認定審査会や他諸々と、他の業種としては予防医学であるカイロプラクティックとECサイトのアドバイザーをしており、全くジャンルの違う仕事をしているように見られることが多いのですが、私としてはすべて『ソーシャルワーク』が根底にあります。高齢者施設の福利厚生として職員への施術+スーパービジョンもさせていただいているのですが、心身ともに健康な状態に近いほどひとは本来持っている力を發揮しやすくなりますし、これから時代、相談業務含めオンライン化がますます進む中で事業をEC化しておくことで必要なひとに必要な情報や技術、モノを今以上に届けることができます。それがソーシャルワークが根底にあるという意味です。様々な経験と一度福祉の現場から離れ、再びご縁をいただいて今度は違う立場で福祉の現場に関わらせていただいていることや介護が必要な家族の立場だからこそ、『社会福祉士としての在り方』も変わってきました。そんなことをお話させていただ

きました。

後半のグループワークでは、コロナ禍になり不便な毎日を過ごす中で日頃感じていることを話し合いました。今抱えている悩みだけでなく、この状況だからこそ社会福祉士として何ができるか何をしたいかということについて語り合いました。どちらのグループも時間が足りないくらい熱い時間でした。

約3時間という長丁場の研修会でしたが、久しぶりに地区支部会員の皆さんのお顔を拝見でき、熱く語り想いを共有できた時間は私にとって最高の『充電時間』となり、共通言語で話せる仲間の存在はとても心強く感じました。

今回は準備の段階から指宿地区の世話人さんを中心に一緒に進め、それもまた有難い時間でした。地区支部ではオンラインでの研修が初めてとのことで、役割分担やzoom操作の練習を繰り返しおこない、久しぶりの研修をどうやつたら参加する方のためになる時間にできるか?を現状や想いを含め検討して構成、そして本番を迎えるました。この姿勢は、日々現場で利用者さんことを考え仕事をしているからこそ考えられることだと思いましたし、社会福祉士としての基本となる部分を見せていただいたように思います。

オンライン研修は地区支部を超えて少し気軽に参加できるメリットもあると思います。今後もどんどんオンラインでの研修も増やせていけたらいいのかなと感じます。

今回は貴重な機会をいただきましてありがとうございました。すべてにおいて充実した時間となりました。

※個人的にメールマガジンで健康や福祉について様々な情報発信もしています。援助者のためのオンラインお茶会など計画中で案内を配信します。ご興味のある方はぜひご登録よろしくお願いいたします。



基礎研修で得た事

久留 千佳

福祉の仕事をした事がないが、福祉に関わる事がしたい。しかし、何をすれば分からなかった。ホームページで基礎研修の存在を知った。ここで私でもできる事を見つけられるかもしれない。基礎研修Ⅰ～Ⅱを受講して多くの方と出会い、学びを得た。講師だけではなく、受講生の一人ひとりも私の先生となって下さった。

人を支援する時に、自己覚知する事の重要性に気付かせて下さった方。社協の経験をもとに地域を巻き込みながら支援する事の大切さを教えて下さった方。所属組織で事例検討会等に取組まれ、自分の考えや意見を分かりやすく伝える事が身に付いている方。福祉と医療の知識が豊富にあるからこそできる質問で、周囲も聞きたい話を相手から引き出して下さる方。グループの雰囲気を把握しながら心配りして、場を和ませて下さる方。人に安心感を与えられる非言語コミュニケーションも身に付いている方。専門的な知見と地域役員の経験を踏まえ、地域福祉がしたい私に助言して下さった方。地域の困り事等を聴き解決に導いて、地域で身近に頼れる存在として活動されている方。表面上の問題だけではなく、その裏に隠れている問題等にも目を向けられる方(8050問題等)。7月の演習時でクライエント役の私を豊富な福祉と医療の知識を活かした相談援助で安心させて下さった方。現場の具体的な事例紹介等で、地域福祉の魅力に気付かせて下さった方。色々な機関と連携、民間の社会資源も活用しながら難しいケースを解決に導けるよう努めている方。理解が難しい権利擁護について、現場の事例を交えながら分かりやすく教えて下さった方。自分の好きな分野を極め、他分野の専門性も高めて多角的な視点を持っている方。利用者のご家族の心のケア等も大切にされている方。熱い心と楽しむ心で福祉を実践し、鹿児島と福岡を盛り上げている方。どんな社会福祉士になりたいか、日々考え続ける事の大切さを教えて下さった方。普段から利用者やご家族が話しやすい雰囲気を作られ、グループワークでも一人ひとりの言いたい事を引き出して下さる方。興味を持った事に関して、関係者から話を聴き調査する等行動に移せる方。専門性だけではなく人間性も大切だと気付かせて下さった方。利用者の気持ちに寄り添いながら、その人らしい生活につながるように支援されている方。基

礎研修で習う前からアウトリーチ活動の重要性を教えて下さった方。全員を紹介できず申し訳ないです。

間近に現場で活躍する方々の専門性と人間性にふれて、こんな風になりたいと思った。その思いがあったから、挫折を感じても受講し続けられた。自分のしたい事、目標も見つけられた。一つだけ心残りがある。質問して、皆様の実践をもっと聞きたかった。できることなら、他の鹿児島県社会福祉士会会員の方の実践も知りたい。「さくらじま」「事務局だより」で紹介して頂けると嬉しいです。

鹿児島社会福祉入門の寄附講座 「福祉専門職の生き方」

社会福祉法人 南恵会 前田 健吾

2022年6月17日、社会福祉士会を代表して、鹿児島国際大学の社会福祉学科の学生に「福祉専門職の生き方」について講義を行ってまいりました。この講義は、福祉分野専門職3団体である鹿児島社会福祉法人経営者協議会、公益社団法人鹿児島県社会福祉士会、一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会の三団体と鹿児島国際大学が結んでいる「包括連携協定」に基づく寄附講座として開催されております。

鹿児島社会福祉入門の講義は、「余はいかにソーシャルワーカーになりしか」というフレーズがテーマで、学生たちへどういう経緯でソーシャルワーカーになろうと思ったのか、そして現在どんなソーシャルワークに取り組んでいるのかを伝えることで、将来自分たちがどのような職業人となって、福祉現場で活躍するのかというイメージを持ってもらうことが目的です。余談ですが私は鹿児島国際大学の学生時代、この社会福祉入門の講義が福祉の面白さを知るきっかけとなっていました。入学当時は、福祉=施設という認識しか持ち合わせていませんでしたが、今にして思えばこの講義を聞いて社会に対して行動を起こすというソーシャルワークという概念を知ったことが、福祉の道に進む理由になっていると思います。

今回の講義では離島のソーシャルワークとして、居住支援の話をしました。

北薩地区支部インスタグラム開設しました！

北薩地区支部

冒頭ではありますが、北薩地区支部インスタグラムを開設しましたので、二次元コードの読み込み又はインスタグラムで「鹿児島県社会福祉士会北薩地区支部」と検索していただくと表示されますので、皆様ご登録&いいねをお願いします。

突然の告知となりましたが、このたび北薩地区支部のインスタグラムを開設したところ、事務局よりインスタグラム開設経緯についての原稿依頼がありました。何をどのように書いて良いものかと思いましたが、ありのままを綴りたいと思います。自己紹介が遅れましたが、今年度より支部役員で書記を担当させていただくこととなりました、久木田です。SNSが好きということでIT担当となりました(笑)。

さて、今回のインスタグラム開設に至った経緯を思い返したところ、ポイントが3つありました。1つ目は支部役員の交代、2つ目は支部活動の目標、3つ目が支部の役割です。

1つ目は支部役員の交代です。今年度より北薩地区支部長及び副支部長の交代がありました。長年北薩地区支部を支えてくださった河野前支部長及び永長前副支部長が勇退され、その際に「次期支部長を含めた役員を次世代に繋ぎ、北薩地区支部を盛り上げてもらいたい」との意向により、新役員（支部長、副支部長、会計及び書記）の平均年齢が40代となりました。次世代にバトンを繋いだ前支部長の思いや熱量を形にすべく、役員会議では議論が白熱しました。

2つ目は支部活動の目標です。今年度の支部活動の目標に「SNSなどを活用して支部活動を具体化する。」とあります。支部では、啓発活動の一

環として地域イベントへ参加していますが年1回であり、啓発という点において弱さを感じているところでした。そこで、SNSを活用することで広報啓発機会を増やすことが可能となります。

3つ目は支部の役割です。支部内規を確認していると「会員の資質向上を図るための研修啓発活動、支部組織の強化」とありました。そこで、SNSを活用し、北薩地区支部会員の交流の場とすることで、支部組織の強化を図る機会としました。あわせて、未会員への加入促進という目的も含んでいます。

さてさて、役員会議は白熱し、理想を語り合い、実現に向けた具体策へ落とし込む作業という、ワクワクする会議の中で生まれたインスタグラム開設です。投稿数はまだ少ないですがタネをまき育てていきたいと思います。

新役員体制のもと、北薩地区支部会員の皆様、諸先輩方、事務局と連携をしながら、活動に取り組んでいきます。

最後になりますが、広報さくらじまが発行された際は、改めてインスタグラムにも投稿しますので、今のうちにご登録をお願いします☆

Instagram URL

<https://onl.tw/1LvZQEg>



KAGOSHIMACSW.HOKUSATSU

